

新興国レポート

インドが法人税率の引き下げを発表

法人税率引き下げ発表でインド株式急騰

- ▶ インドのシタラマン財務相が9月20日、法人税率の引き下げを発表。景気や企業業績の回復期待等を背景に同日のインド株式（センセックス指数）は前日比で5%を超える急騰。
- ▶ インド株式は短期的な過熱感を警戒した売り等を消化した後、業績回復期待やRBI（インド準備銀行）の利下げ観測等を支援材料に上昇基調入りするものと思われる。

(1) インドが法人税率の引き下げを発表

- インド経済は、2019年4～6月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前年同期比で5.0%増と約6年ぶりの水準に悪化する（図表1）、2019年8月の国内新車販売が前年同月比で33%減少する（図表2）等、減速傾向を強めています。
- インドのシタラマン財務相は9月20日、経済の立て直しを図るために国内企業の法人税率を従来の30%から22%に引き下げると発表しました。特別追加税（Cess）と、利益が一定基準を超えた場合に課される追加税（Surcharge）を含む実効税率は従来の約35%から25.17%に10ポイント程度引き下げられ、2019年4月にさかのぼって適用されます。また製造業について、2019年10月以降に新規設立され、2023年3月までに生産を開始する場合の実効税率は17.0%とさらに低くなります。同財務相の発表によると、今回の減税措置により2019会計年度（19年4月～20年3月）の歳入は1.45兆インドルピー（約2.2兆円）減少する見込みです。また、新たな法人税率は南アジアや東南アジアの中の最も低い国・地域の税率と対等な水準になるようです。

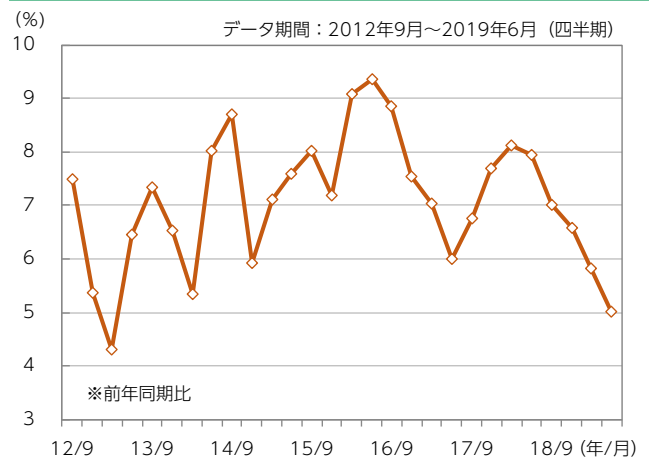
(2) インド株式市場等の反応

- 突然の法人税率引き下げ発表を受け、インドの株式市場は急伸しました。9月20日のセンセックス指数は前日比5.3%上昇し、23日には約2カ月ぶりに39,000台を回復して引けました。尚、20日のインドルピーも対米ドルで前日比0.7%上昇（インドルピー高）しました（図表3）。

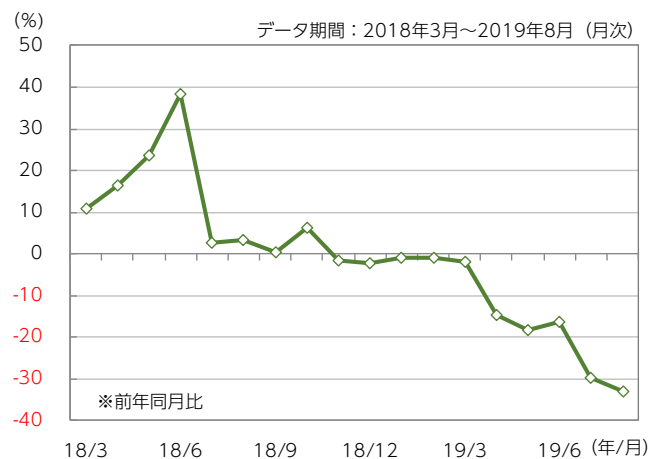
(3) インド株式市場等の見通し

- インド株式市場は、急激な上昇による短期的な過熱感を警戒した売りや戻り待ちの売り等により、一旦は上値が重くなるものと思われます。しかし、売り一巡後は、法人税率引き下げを受けた企業業績の拡大観測や、インド政府による新たな経済対策期待、2019年に入り8月までに4会合連続で利下げを実施したRBIの金融政策に対する思惑等が支援材料となり、上昇基調入りするものと考えます。インドルピーも対米ドルで回復傾向になるものと思われます。

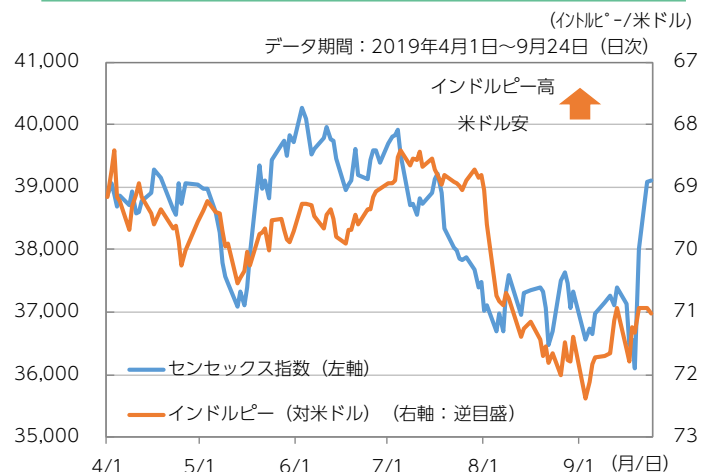
図表1：インド実質GDP成長率



図表2：インド国内新車販売



図表3：センセックス指数とインドルピー



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>